



日本笑い学会関東支部第296回オンライン研究会



笑いの四段階

～じゃれ遊び、滑稽、ジョーク、ユーモア～

【講演概要】

前半では笑いの位置づけを行い、後半では笑いにおける高次な側面の分析を試みます。

1. 笑う身体を観察し、笑いが快・興奮・弛緩の状態であることを確認。
2. 笑いが、身体的遊び、滑稽、ジョーク、〈(狭義の)ユーモア〉の四段階からなることを解説。
3. ジョークの快論理：ジョークの愉快さが形式的快と遊戯的論理による概念秩序の侵犯によることを確認。
4. 〈ユーモア〉の位置づけ：狭義のユーモアをセルフコンパッションなどとの関係で位置づけ。



講師：雨宮 俊彦 氏
(関西大学・教授／日本笑い学会・理事)

【講師紹介】

東京大学理学部生物学科卒業。文学修士。現在、関西大学社会学部教授。日本笑い学会理事。感情としての笑いとうーモアの研究を長年、続けている。

著書

『笑いとうーモアの心理学 何が可笑しいの?』(ミネルヴァ書房)(日本笑い学会「第6回日本笑い学会賞」受賞)

『わらいのひみつ』(フレーベル館)(おおのこうへい著、雨宮俊彦監修) など。

2021年7月17日(土)

講演 14:30~16:30

Zoom入場は 14:15~

※新型コロナ感染拡大に伴い、会場参加は中止とし、Zoomによるオンライン参加のみとなりました。

コロナ対策のため事前申し込み制
会員無料

(非会員は参加費 1000円)

(ただし非会員の学生は無料)

申し込み方法：お名前・会員番号
(非会員の方は「非会員」、学生の方は学校名)を記載し、
メールにて申込み下さい。

主催：日本笑い学会関東支部

問合せ・申込先：un_ei-01@warai-kanto-0808.org

ホームページ：http://www.warai-kanto-0808.org/